

岩手県立大学への「CO₂を食べる自販機」の設置に係る発表会の開催について

ゼロ・カーボン化推進の取組として、本学の学生団体である「SDGs サークルさすぐらし」の発案により、滝沢キャンパスに「CO₂を食べる自販機」が設置されたことから、6月10日（水）に発表会を開催しますので、取材いただきますようお願いいたします。

なお、「CO₂を食べる自販機」が大学に設置されるのは、県内では初とのこと。

- 1 日時
令和8年6月10日（水）12時15分～12時45分
- 2 場所
岩手県立大学 共通講義棟1階 エントランスホール

<CO₂を食べる自販機>



- 3 出席予定者
SDGs サークルさすぐらし
岩手県立大学生生活協同組合（自販機設置事業者）
株式会社ミチノク（自販機取扱事業者）
学長
- 4 内容
 - (1) お披露目・挨拶
SDGs サークルさすぐらし 代表 小田 愛華（発案の経緯等）
※ SDGs サークルさすぐらしは、ICFA（いわてカーボンフリー・アクション：環境保全やSDGs、地域づくりに関する活動等）に取り組む、県内大学の大学生の有志が参加している学生プロジェクトチーム）の活動に参画しています。
 - (2) 挨拶
岩手県立大学生生活協同組合 店長 吉田 知豊（設置の経緯等）
 - (3) コメント
学長（自販機が設置されたことによる脱炭素化への期待等）
 - (4) 「CO₂を食べる自販機」の概要説明
株式会社ミチノク 営業本部長 佐々木 重喜（「CO₂を食べる」仕組みの説明、吸収剤のサンプル展示 等）
 - (5) 写真撮影 ※ 終了後、報道対応の時間を設けます。

- 5 (参考)「CO₂を食べる自販機」について
 - ・ アサヒ飲料株式会社が開発した、庫内にCO₂を吸収する特殊材を搭載した自動販売機。特許（第7282338号）取得済み。
 - ・ 1台当たりのCO₂年間吸収量は稼働電力由来のCO₂排出量の最大20%を見込んでおり、スギ（林齢56-60年）に置き換えると約20本分の年間吸収量に相当。
 - ・ CO₂を吸収した吸収材は、肥料やコンクリート、工業原料などの資源として活用可能。

【問合せ先】岩手県立大学 ゼロ・カーボン化推進室事務局（総務室管財契約グループ）

TEL：019-694-2002 FAX：019-694-2001 E-mail: kanzai-gp@ml.iwate-pu.ac.jp